

日本核医学会分科会
第 40 回腫瘍・免疫核医学研究会

日 時 : 平成 18 年 9 月 9 日 (土) 13 : 00~
場 所 : アクトシティ浜松 コンgressセンター
4 階 43+44 会議室

会長 阪原晴海
浜松医科大学放射線医学講座

プログラム

開会の挨拶 13 : 00-13 : 05

特別講演 13 : 05-14 : 05 座長 : 阪原晴海 (浜松医大)

神経幹細胞を用いた膠芽腫の遺伝子治療

難波宏樹

浜松医大脳神経外科学

2006年 SNM 報告 14 : 05-14 : 25 座長 : 間賀田泰寛 (浜松医大)

腫瘍を標的とする放射性薬剤の動向

小川美香子

浜松医大光量子医学研究センター

一般演題 14 : 25-15 : 01 座長 : 戸川貴史 (千葉県がんセンター)

1. PET/CTにおける微小病変の描出能向上に関する技術的検討

井上一雅^{1,2}、藤井博史³、佐藤 敬¹、北村秀秋^{1,2}、福士政広²、黒沢秀雄¹、田仲 隆¹、平山 昭⁴

¹国立がんセンター東病院放射線部、²首都大学東京大学院保健科学研究科、

³国立がんセンター東病院臨床開発センター機能診断開発部、⁴G E 横河メディカルシステム画像応用技術センター

2. ¹⁸F-FDGの取り込みを示した肺原発IVBAT—文献的考察を踏まえて

矢野文月、渡辺定弘、山本真由、林 克己、喜多 保、坂田郁子、小須田 茂
防衛医大放

3. ほう素中性子捕捉療法後にタリウム SPECT を施行した神経膠芽腫の一例

赤木弘之¹、金澤秀次¹、小森 剛¹、小倉康晴¹、太田仁八¹、榎林 勇¹、宮武伸一²、黒岩敏彦²

¹大阪医科大学放射線医学教室、²大阪医科大学脳神経外科学教室

休憩 15 : 01-15 : 15

指名講演 15 : 15-16 : 45 座長 : 伊藤健吾 (国立長寿医療センター)
鳥塚達郎 (県西部浜松医療センター)

1. PET がん検診の現状
西澤貞彦
浜松 PET 検診センター
2. デリバリーFDG による PET 検査
小泉 満
癌研有明病院
3. 造影 CT と組み合わせた PET/CT 検査について
井上登美夫
横浜市立大学

シンポジウム 「I-131 MIBG による内用療法の共通のガイドライン作成に向けて」

16 : 45-17 : 45 座長 : 中條政敬 (鹿児島大)
横山邦彦 (松任石川中央病院)

1. 北海道大学病院での I-131 MIBG による内用療法の実際とガイドライン
森田浩一
北海道大学 核医学
2. 群馬大学病院での I-131 MIBG による内用療法の実際とガイドライン
織内 昇
群馬大学 画像核医学
3. 金沢大学病院での I-131 MIBG による内用療法の実際とガイドライン
絹谷清剛
金沢大学 核医学診療科

閉会の挨拶 17 : 45-17 : 50

* 研究会終了後、懇親会を行います。

会場案内

アクトシティ浜松 コンgressセンター

〒430-7790 静岡県浜松市板屋町 111-1

TEL:053-451-1111、FAX:053-451-1123、E-mail:info@actcity.jp

